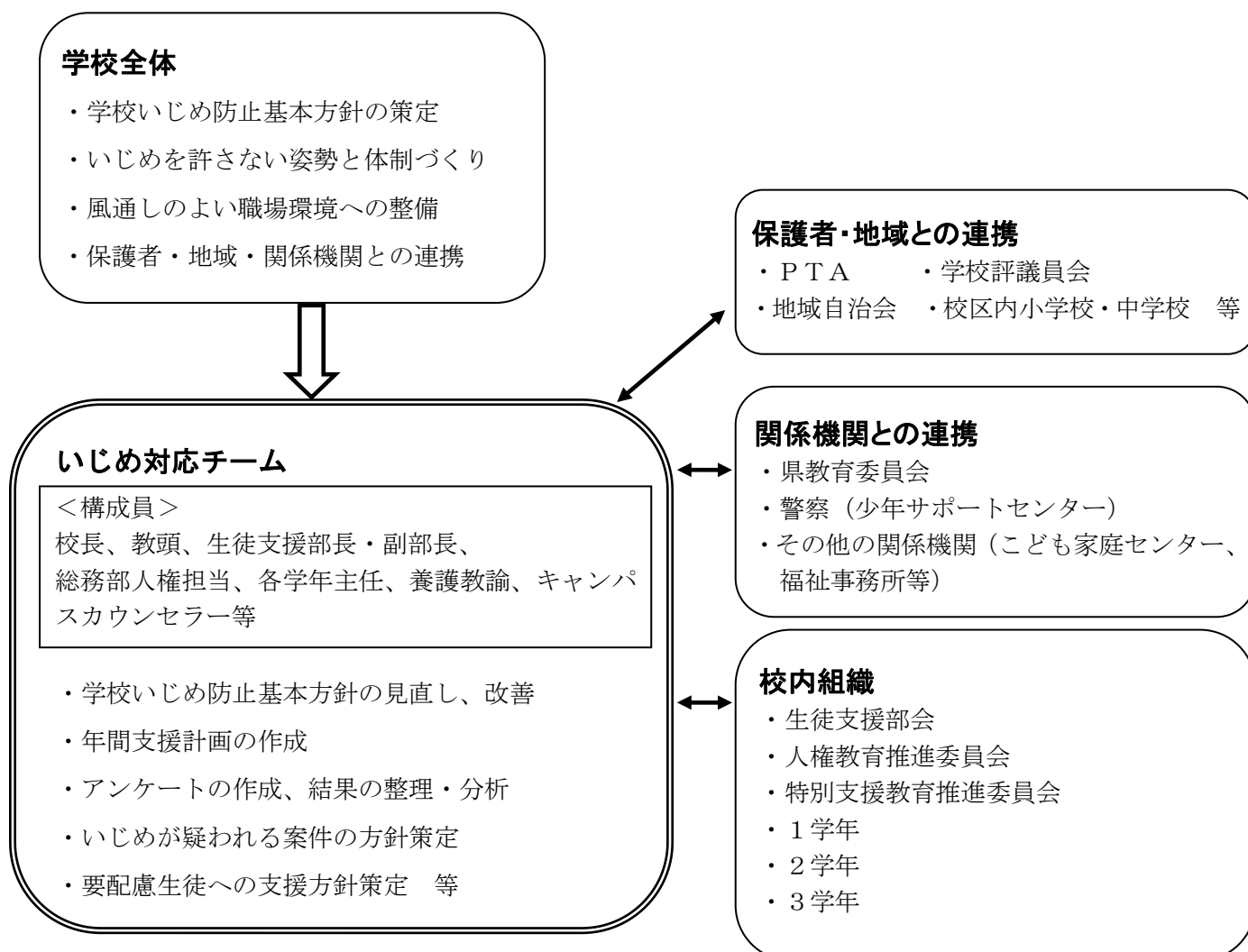


校内支援体制及び関係機関

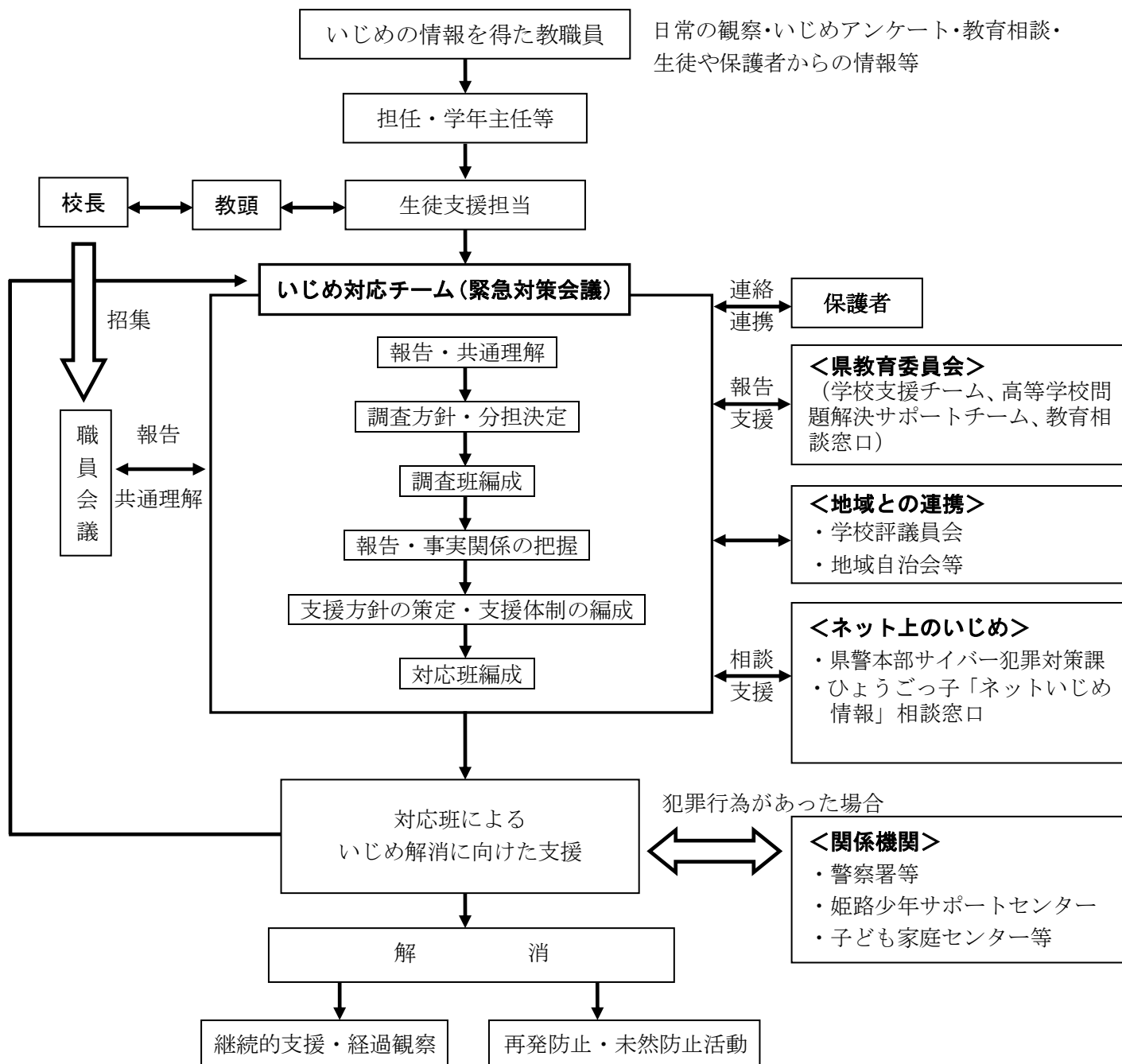
- 1 「いじめは絶対に許さない」「いじめを根絶する」という強い意志のもとで、学校全体で組織的な取組を行う。(人権教育・道徳教育・体験教育・特別活動等)
- 2 いじめ問題への組織的な取組を推進していくため、いじめ問題への対応に特化した機動的な「いじめ対応チーム」を設置する。
- 3 「いじめ対応チーム」を中心として、特定の教員がいじめ問題を抱え込むことのないように、教職員全体で共通理解を図り、報告・連絡・相談を確実にやり、学校全体で総合的ないじめ対策を行う。
- 4 生徒の状況や地域の実態に応じた取組を展開するために、アンケート等を活用した検証・評価を定期的実施する。また、学校評価の項目に位置づけ、その情報を公開し、生徒・保護者等学校関係者からの意見を取り入れるよう努める。
- 5 いじめの未然防止・早期発見・早期対応について、教職員の共通理解と対応能力の向上を図るための校内研修や情報交換会を行う。



※ いじめ対応チームの会議は、原則として学期に1回行うが、情報交換・共有等必要が生じた時は随時開催する。

※ いじめ問題が発生した時は即座に「いじめ対応チーム」を招集する。

県立福崎高等学校 組織的対応



留意事項 【 その他の留意点は「いじめ対応マニュアル」(兵庫県教育委員会) pp. 7～13 参照 】

(1) 事実確認について

- ① 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、他の生徒の目に触れない場所、時間等で事実確認をする。
- ② いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
- ③ 必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。

(2) 事実確認後、双方の保護者に複数の教職員で直接丁寧に説明を行い、今後の学校としての対処方針を伝え、協力を求める。

(3) 傍観者への支援も行う。また、必要があれば、関係者の同意を得た上で、説明文書の配布や緊急保護者会を開催する。

2021 年間支援計画

県立福崎高等学校

	1 職員研修会、会議等	2 未然防止に向けた取組	3 早期発見に向けた取組
4月	中学校からの情報収集	新入生歓迎会	体制の確立
	生徒情報交換会①	新入生オリエンテーション	情報交換
	いじめ対応チーム会議①	ふるさと貢献活動①	
	カウンセリングマインド研修会①		
5月	ネットトラブル防止講演会	ふれあい育児体験①	教育相談週間①
		ふるさと貢献活動②	
6月	学校評議員会①	福高祭	いじめアンケート調査①
	いじめ対応チーム会議②	人権ホームルーム①	
	いじめ対応研修会	公開授業週間①	
		生徒による授業評価①	
7月	メンタルヘルス研修会	球技大会①	教育相談週間②
		「心の教育」講演会	三者面談①
		ボランティア清掃①	
		ふるさと貢献活動④	
8月		ふるさと貢献活動⑤	
9月	生徒情報交換会②	体育大会	情報交換
	いじめ対応チーム会議③	ふるさと貢献活動⑥	教育相談週間③
10月	カウンセリングマインド研修会②	職種別生き方座談会	いじめアンケート調査②
	人権研修会	進路講演会	教育相談週間④
		ふれあい育児体験②	
		ふるさと貢献活動⑦	
11月	ボランティア清掃②		
	学校評議員会②	人権講演会	いじめアンケート調査③
	いじめ対応チーム会議④	人権ホームルーム②	
		公開授業週間②	
12月		生徒による授業評価②	
		ふるさと貢献活動⑧	
		1年生職種別生き方座談会	
		グラウンド・ゴルフ大会	教育相談週間⑤
1月		ふるさと貢献活動⑨	三者面談②
	生徒情報交換会③	修学旅行	情報交換
		人権ホームルーム③	いじめアンケート調査④
2月		ふるさと貢献活動⑩	
	カウンセリングマインド研修会③	公開授業週間③	教育相談週間⑥
3月	いじめ対応チーム会議⑤	ふるさと貢献活動⑪	
	学校評議員会③	球技大会②	
		ボランティア清掃④	
		ふるさと貢献活動⑫	

朝のあいさつ運動

キャンパスカウンセリング

1 職員研修会、会議等

- (1) いじめ対応チームの会議は、原則として学期に1回行うが、情報交換・共有等必要が生じた時は随時、事案が発生した時は即座に会議を開く。
- (2) 4月当初に、新入生に関する中学校からの情報を全職員で共有すると共に、配慮を要する生徒についての情報交換を学期に1回行う。

2 未然防止に向けた取組

- (1) 様々な学校行事を通して、他者と関わることの喜びと大切さを認識し、絆や集団づくりを進め、自己有用感を高める機会を提供する。
- (2) ボランティア清掃、ふれあい育児体験、地域との交流行事等を通して、豊かな人間性や社会性・規範意識の涵養を図る。
- (3) 人権・進路・国際理解教育・「心の教育」講演会等の講演会や職種別生き方座談会を通して、自己や他者の生き方、社会についてより深く考える機会を設ける。
- (4) 生徒が、自尊心を持ち安心して学校生活を送るために、生徒理解に基づく心の通い合う生徒支援に努めると共に、公開授業や生徒の授業評価等を活用して、わかる授業づくりを推進する。

3 早期発見に向けた取組

- (1) 日頃から、生徒や保護者との連絡を密にし、信頼関係の構築に努める。
- (2) 研修会、アンケート、個別面談・観察等を通して、いじめ認知能力やカウンセリングマインド能力の向上を図ることで、生徒一人ひとりに適切に対応する力と教職員の人権感覚の向上に努める。
- (3) いじめアンケート調査を年4回以上行い、その情報を全教職員で共有し、その一つひとつに適切迅速に対応する。調査の結果、いじめ事案がゼロ件の場合、学校ホームページにアップすることによって意見を募り、潜在的ないじめの発見に努める。
- (4) 年間を通して、生徒・保護者を対象にキャンパスカウンセリングを実施する。

いじめ早期発見のためのチェックリスト 1 (教職員用)

いじめられている生徒

<日常の行動・表情の様子>

- わざとらしくはしゃいでいる
- おどおどしたり、にやにや、にたにたしたりする
- 友達に悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- ときどき涙ぐんでいる
- 元気がなく、ぼんやりしていることが多い
- 腹痛や頭痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- 早退や一人で下校することが増える
- 遅刻・欠席が多くなる

<授業中・休み時間>

- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 今まで一緒だったグループからはずれ、一人でいることが多い
- 決められた座席と違う席に座っている
- 班編成の時に孤立しがちである
- 指名されると、周囲がざわつく
- 発言すると、冷やかされたり、ちゃかされたりする
- 発言を強要されたり、突然個人名が出されたりする
- 教職員がほめると、冷やかされたり、陰口を言われたりする
- 不まじめな態度、ふざけた質問をする
- 訳もなく階段や廊下を歩いていたたり、用もないのに職員室に来たりする
- ひどいあだ名で呼ばれる
- おどおどした様子で、いつも強い者に付き添って行動する
- 「友達とふざけているだけ」「友達と遊んでいるだけ」と言うが、表情が暗い

<昼食時>

- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 弁当を無断で食べられたり、捨てられたりする
- 笑顔がなく、黙って食べている
- 教室で一人離れて食べている
- 昼食時になると教室から出ていく

<清掃時>

- その生徒の机や椅子だけが運ばれず、放置されている
- いつも雑巾がけやゴミ捨て等他の生徒が嫌がることをしている
- 一人離れて掃除をしていたり、一人だけで掃除をしている

<その他>

- トイレや黒板等に個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- 持ち物が壊されたり、隠されたり、紛失したりする
- 服が汚れていたり、髪が乱れたりしている
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- 叩かれる、押される、蹴られる、突かれるなど、たびたびちょっかいを出され、顔や手足にすり傷やあざがある
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 他の生徒にいやなこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- 必要以上のお金を持ち、友達におごるなどする
- 理由もなく成績が突然下がる
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す

いじめている生徒

- 多くのストレスを抱えている
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- あからさまに教職員の機嫌をとり、教職員によって態度を変える
- 教職員の支援に大声を出して反抗したり、支援を受けずに帰ってしまう
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 他の生徒に対して威嚇する表情をする
- 活発に活動するが他の生徒にきつい言葉を使う
- いつも仲間同士で集まり、ひそひそ話をしたり、行動したりしている
- グループに教職員が近づくと、急に仲のよいふりをしたり、黙ったり、不自然に分散したりする

いじめが起こりやすい・起こっている集団

<ホームルーム教室>

- 朝、いつも誰かの机が曲がっていたり、特定の生徒だけ机の間隔が他の生徒と開いている
- 天井や掲示物が破れていたたり、落書きがある
- 教室のゴミ箱にごみがあふれている
- 教員がいないと掃除がきちんとできない

<集団>

- 班編成をすると、特定の生徒が残る
- 班編成をすると、机と机の間に隙間が開く
- 特定のグループが、自分たちだけでまとまり、他のグループを寄せ付けない雰囲気がある
- 特定の生徒に気を遣っている雰囲気がある
- 絶えず周囲の者の顔色をうかがっている生徒がいる
- 些細なことで特定の生徒を冷やかしたりするグループがある
- 授業中、教職員に見えないように、特定の生徒に物を投げる等のいたづらをする

いじめ早期発見のためのチェックリスト 2（保護者向け）

- 衣服の汚れや破れが見られたり、よくけがをしたりしている
- 裸になるのを嫌がる（殴られた傷跡やあざなどを見られるのを避けるため）
- 買い与えたものが紛失したり、壊されたり、落書きされたりしている
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする
- 食欲が無くなったり、体重が減少したりする
- 寝付きが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く
- 激しい口調の寝言や助けを求める寝言を言ったり、うなされることが多くなる
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟に反抗したり、ペットをいじめたり、物に八つ当たりする
- いらいらして反抗的になったり、急に口数が少なくなって元気がなくなる
- 表情が暗くなり、言葉数が減る
- 部屋に閉じこもりがちになり、ため息をついたり、考え事をしたりする
- 親から視線をそらしたり、家族から話しかけられることを嫌がったりする
- テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする
- 急に学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする
- 急激に成績が下がる
- 登校時刻になると、頭痛・腹痛・吐き気などを身体の不調を訴え、登校を渋る
- 学校を早退したり、用事もないのに帰宅時間が早くなったり遅くなったりする
- 転校を口にしたり、学校をやめたいなどと言い出す
- 親しい友人が来なくなり、見かけない者がよく訪ねて来る
- 不審な電話や嫌がらせの手紙・メールがきたり、友人からの電話で急な外出が増えたりする
- 自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心を持つ
- 投げやりで集中力が無くなったり、ささいなことでも決断できなくなる
- 刃物など、危険な物を隠し持つようになる